

特集

原発事故から 15年

東北地方太平洋沖地震とそれに伴って発生した東京電力福島第一原子力発電所の事故が発生してから、今年3月11日で15年になります。本誌の読者、関係者の多くは、発生直後から、専門的な立場で事故対応、被災者の支援等に尽力されたことだと思います。本誌では、早くも2か月半後に発行された6月号から、本文や主任者コーナーでその一部を紹介してきました。また原発事故に関する調査結果や研究開発については随時記事として紹介してきました。更に2021年2月号（No.773）では「特集 原発事故から10年」として、環境放射能、農業、廃炉の問題を詳しく紹介しています。

本誌編集委員会では、15年というやや半端な時期ではありますが、関係者に連絡が付きやすく執筆をお願いしやすい今、著名な先生だけでなく身近な関係者が、地震・事故発生の直後の「あの日あの時」に何をされたか、何を感じられたかをまとめることにしました。

本特集が思い出を記録するだけでなく、今後の震災や事故に備える参考になれば幸いです。

（*Isotope News* 編集委員長 上蓑 義朋）